

岩波文庫創刊70年記念

臨時増刊

1996

図書

私の三冊



岩波書店

一九九六年四月三日 第二種郵便物認可 一九九六年一月一〇日発行 第五七七号

● 中村桂子（生命誌研究館副館長／生命誌）

(1)『あしながおじさん』(ジーン・ウェブスター
／遠藤寿子訳)

少しづつ悩みが出てきたけれど、めげずに生きたい。そう思っていた頃のお手本がジョンディでした。遠藤さんの日本語がとても素敵で、今も時々その日本語に接しています。

(2)『車輪の下』(ヘルマン・ヘッセ／実吉捷郎訳)

ゲーテ、ヘッセ、マン……ドイツ文学の中の青年像に、やりきれないさを含めた自分像を重ねて読んだ。その代表として、時代が変わっても、青年の本質は変わらないだろう。

(3)『種の起原』(ダーウィン／八杉龍一訳／全二冊)

進化論と言えば自然淘汰と言つてしまふが、この本を読むと、自然をていねいに観察し、生物、そして人間の本質を深く考えた経緯がわかる。考える素材に満ちた本だ。

● 中邨秀雄(吉本興業株式会社代表取締役)

(1)『山椒魚・遙洋隊長他七篇』(井伏鱒二)

(1)『吾輩は猫である』(夏目漱石)
議論などで頭が熱して、よく寝つかれぬ時、何度もお世話になつたことか。表現力、ユーモアのセンス、繊細でしかも大胆な人間・人生へのスタンスに引かれる。

(2)『ザエニスの商人』(シェイクスピア／中野成)

(2)『伊豆の踊り子・温泉宿他四篇』(川端康成)
読むたびに二〇歳の青年の持つ透明な感性と情感を思い出させてくれる青春が描かれ

著者は皮肉と温かさを共存させる名人だ。

誰もが日常の中に持つ屈折や虚栄を特有の観察眼であつてらかんと語り、とぼけた会話で柔らかく仕立てる。彼の職人芸に感服した。

(2)『月と六ペナス』(モーリー／阿部知二訳)

実在した画家ボール・ゴーギャンを思われる主人公が自分だけでなく他人をも犠牲にしてまで美を追求した人生。モームならではに結末の意外性は読者を引きつけて止まつたのである。

(3)『オード・ヘンリイ傑作選』(大津栄一郎訳)

題名どおり、まさしく各短篇が傑作である。独特的ユーモアとユーティットとペーソス、それなりに結末の意外性は読者を引きつけて止まつたのである。

● 行方昭夫(東洋学園大学教授／英文学)

(1)『ナポレオン言行録』(O・オブリ編／大塚幸男訳)

(1)『ナポレオン言行録』(O・オブリ編／大塚幸男訳)
フランスの偉大な将軍であり、皇帝であり、最後は不遇の人であつたといいう歴史的な人物であるということより、彼の本質は文人、思想家、哲学者であつたといいうことを知る一冊。

● 西和彦(株式会社アスキー社長)

(1)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

終戦後、それまでの倫理観が崩壊しこれから生きてゆくときの心のよるべを摸索していくときに師に教えられて読んだことが、自己発見につながった。

(2)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

世にニイチエと共にニヒリズムと云われるが、通俗な権威を破壊し尽くす恐ろしいエネルギーの次には愛の把握がある。ニイチエより弱いが、纏まっていて読み易い。

(3)『ロウソクの科学』(ファラデー／矢島祐利訳)

分り易い科学というのは英國の特産であると思うが、この本を読むと科学と云うものが如何に自然で分り易いかといいう気になる

パソコンによる日本語研究法入門

中野洋

B5判 2700円 [MS-DOS対応]
初心者から国語学者までの超パソコン
コン法。語彙・文字調査用FD付

源氏物語絵巻 を読む

久下裕利

● 物語絵の視界 A5判 7800円
国宝「源氏絵巻」の詞書と絵画との
交響を文学者が鮮やかに読み解く

源氏物語の実相

黒須重彦

● 漢文の内在化 A5判 8500円
古典に宿る漢文の解釈の読み提示

玉葉和歌集全注釈

岩佐美代子

上、中、下巻 本文完結
A5判上、下各1800円中1400円
中世を代表する勅撰集2800首の本邦初の全訳。別巻[索引他]12月刊

平安時代補任

及び

女人綜覧

本多伊平編

【本編】[人物索引]全2冊完結
B5判 [本編]39140円 [人物索引]25000円
官人の記録史料と顧みられなかつた女性に関する記事を年毎に網羅

仮名文の構文原理

小松英雄

A5判 5500円

前著『仮名文の原理』の構文原理に
関わる論考を独立させた改訂新版

中世王朝物語全集

全21巻 別巻1 A5判 上製函入
中村真一郎氏、河合隼雄氏激賞！
第3回記念本[著]の衣今井源衡訳注
12月刊予定 予価3900円・小社目録上

笠間書院

Tel 101 千代田区猿楽町2-2-5
電 03-3295-1331 Fax 3294-0996

好夫訳)

翻訳でこんな切れれば血の出るような、なまなましい日本文があるか。シャイロックの胸のすぐようならぬ啖呵を大阪弁で一度訳してみた。

(3)『20世紀イギリス短篇選』(小野寺健編訳／全二冊)

英文学の講義でお世話になつている。講義で話したことと、せめてきちんととした翻訳で確かめ、味わえと言つて、これを挙げる。

作品の選び方も多い。

(3)『20世紀イギリス短篇選』(小野寺健編訳／全二冊)

胸のすぐようならぬ啖呵を大阪弁で一度訳してみた。

● 西和彦(株式会社アスキー社長)

(1)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

フランスの偉大な将軍であり、皇帝であり、最後は不遇の人であつたといいう歴史的な人物であるということより、彼の本質は文人、思想家、哲学者であつたといいうことを知る一冊。

(1)『ナポレオン言行録』(O・オブリ編／大塚幸男訳)

フランスの偉大な将軍であり、皇帝であり、最後は不遇の人であつたといいう歴史的な人物であるということより、彼の本質は文人、思想家、哲学者であつたといいうことを知る一冊。

(1)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

終戦後、それまでの倫理観が崩壊しこれから生きてゆくときの心のよるべを摸索していくときに師に教えられて読んだことが、自己発見につながった。

(2)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

世にニイチエと共にニヒリズムと云われるが、通俗な権威を破壊し尽くす恐ろしいエネルギーの次には愛の把握がある。ニイチエより弱いが、纏まっていて読み易い。

(3)『ロウソクの科学』(ファラデー／矢島祐利訳)

分り易い科学というのは英國の特産であると思うが、この本を読むと科学と云うものが如何に自然で分り易いかといいう気になる

ている一冊。「いい人はいいね」という踊り子の言葉は私の人生の目標となる言葉となつた。

(3)『死に至る病』(キエルケゴール／斎藤信治訳)

何回読んでも難解な一冊。本書の目次に、絶望すると死んでしまうということ、绝望することは罪であるということがあり、これによって私は辛い時の絶望を排し、希望を得た。

● 西垣通(東京大学教授／情報学)

(1)『我と汝・対話』(マルティン・ブーバー／植田重雄訳)

情報化社会では、すべては「われ—それ」の関係に変えられてしまう恐れがある。と

● 西澤潤一(東北大學總長／電子工学)

(1)『後世への最大遺物・デンマーク國の話』

分り易い科学というのは英國の特産であると思うが、この本を読むと科学と云うものが如何に自然で分り易いかといいう気になる